

受付	個人質問	第	号
	令和 年 月 日	時	分

一般質問＜個人＞発言通告書

令和7年2月13日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 岡崎つよし

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	令和4年1月に行ったゼロカーボンシティ宣言について 佐藤市長も選挙公約において、「カーボンニュートラルに向けた取り組みの強化」を掲げていた。 (1) ゼロカーボン達成に向けた進捗状況はどのようなか。 (2) ゼロカーボン実現に向けて市民や地域社会はどのような役割を担っていくのか。 (3) 令和6年度の市長施政方針において着手するとした地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の見直しの進捗状況はどのようなか。	
2	交通安全対策について (1) 市内の交通事故の状況はどのようなか。 (2) 令和元年から5年までの交通事故件数ならびに死亡事故件数はどのようなか。 (3) 小中学校における交通安全教育はどのように行っているか。 (4) 高齢者の運転免許証自主返納の推移はどのようなか。 (5) 地域の安全ボランティアや保護者による立哨など、ソフト面での対策と現況はどのようなか。 (6) 第11次交通安全計画とはどのようなものか。	

3	闇バイトおよび関連犯罪に対する市の対応について 近年、闇バイトが日本全体で治安を脅かす重大な事態となり、新たな被害者や加害者を生まないための対策が急務となっている。令和6年10月30日、愛知県警察本部生活安全総務課は、地域安全対策ニュースとして「闇バイトを介した住宅強盗事件の連続発生（全国）」を発表した。この問題は、首都圏にとどまらず、広域化しており、私たちの身近な地域でも発生している状況である。 家庭における防犯対策への関心が高まっており、地域での防犯プレート設置や声掛けによる防犯力のアピール、また、防犯カメラの設置といった犯罪抑止環境の整備や、若者や子どもたちを守るための対策が求められている。 さらに、嘘の電話を使った詐欺や、SNS型ロマンス詐欺などの被害も県内で発生している。 これらの背景を踏まえ、安全・安心を第一としたまちづくりを進めるため、市の対応を伺う。 (1) 闇バイトを介した犯罪の現状と、これに対する市の取り組みはどのようなか。 (2) 家庭内での防犯対策に対する支援策や啓発活動についての取り組みはどのようなか。 (3) 若年層や子どもたちへの防犯教育の強化が必要ではないか。	
---	--	--